

ニッキン

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド／BINC

株式偏重から債券へのシフトを後押し

ブラックロック・ジャパン

押しファンド

アクティブETFも活用したポートフォリオ提案が急速に広がる米国では、「BINC」という債券のアクティブETFが上場からわずか1年半程度で60億米ドル程度（約9100億円）の資金を集め拡大中だ。

当ファンドは、「BINC」を投資対

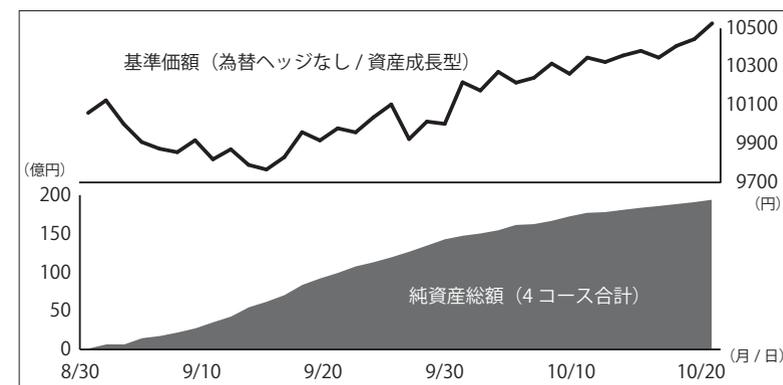
象とした国内投資信託で、日本の投資家向けに2024年8月末に設定された。債券投資の本分ともいえるインカムに注力しており、継続的に高いインカムの獲得を目指して、世界中の債券に投資。高度で専門的な調査やリスク管理が必要でありつつも、魅力的なインカム収益を獲得する投資機会が存在する債券に8割超を投資する。これには新興国債券、ハイ・イールド債、証券化商品なども含まれ、一

見するとリスクが高いようにも思えるが、2500超の銘柄に分散投資したポートフォリオでリスクの低減を図る。

運用責任者はブラックロックグローバル債券CIOのリック・リーダー氏。ブラックロックの世界屈指の債券運用部隊

名称	ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド／BINC (為替ヘッジなし／資産成長型) (限定為替ヘッジあり／資産成長型) (為替ヘッジなし／実績分配型) (限定為替ヘッジあり／実績分配型)
運用会社	ブラックロック・ジャパン
カテゴリー	追加型投信／内外／債券
純資産残高	194億円 (10月24日時点、4コース合計)

の総力を結集した債券「全部入り」の当ファンドで、株式へ偏重したポートフォリオの見直しや投資魅力が増した債券への投資を検討したい。



日本金融通信社が記事利用を許諾しています
ニッキン 2024年11月15日号14面